



『盈たして進む III』

「盈進っ子の心を見つめる教育週間」

お忙しい中、教育週間中の行事参加、授業等の参観などにご協力いただきありがとうございました。17日（月）には命の大切さについて校長講話をしました。



「人は、死の悲しみを感じて、命の尊さを考えます。でも、本当はそうではないと私は思います。生きている時にこそ、命に対して真剣に向き合って、その命を大切にするためにはどうしたらよいかを考え、正しい行動に移さなければなりません。自分の気持ちを正直に伝え合い、理解し合い、お互いを思いやって生きていくことが必要です。チクチク言葉で傷付けてしまうと、仲のよかった友達と話ができなくなってしまったり、二度と会えなくなってしまったりすることもあります。だからこそ、一緒に笑い合える、一緒に食事ができる、一緒に勉強ができる、一緒に遊べる、今この時を大切にして、家族や友達を思いやり、ふわふわ言葉をたくさん使ってほしいと思います。そして、盈進小学校をたくさんの『なかよし名人』や『ありがとう名人』がいる笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思います。」と話をしました。 ～部分的に途中省略～



19日（水）は、ふれあい音楽集会でした。今年も『津軽三味線椿』のみなさんが、演奏を披露してくださいました。「コロナ禍の影響もあり練習量は以前よりずいぶん少なくなりました。」と話されていましたが、素早い指捌きに子ども達は魅了されていました。また、今年は、地域イベントで活躍中の『倭寇太鼓富江バラモン会』のみなさんも出演してくださいました。

8人で叩く太鼓の響きはとても迫力があり、体全体で表現する姿に圧倒されました。子ども達全員が演奏体験することもでき、とても嬉しそうでした。最後は、お礼の気持ちを込めて、児童全員で「宝島」を歌いました。その後は、三味線の伴奏に合わせて「ふるさと」、リクエストにこたえて「盈進小学校校歌」を会場全員で歌いました。みんなが一つになってとても温かな音楽発表会となりました。参加していただいたすべての皆様に感謝いたします。

21日（金）は、「命の大切さ」「思いやり」などに関する道徳科の授業参観でした。地域の方々を含め、たくさんの参観者に見守られながら、恥ずかしそうにしながらも、自分のこれまでの行動を振り返りながら一生懸命に考えて発表する子ども達の姿が印象的でした。



〔お願い〕

近年、インターネットやゲームによるトラブル、健康被害が全国的に急増しています。SNSによる誹謗中傷やいじめ、長時間のゲームや端末機器使用による視力低下などは、子ども達にとって、ごく身近にある大きな問題と言えます。将来を担う子ども達がこれからの時代をよりよく生きていけるよう、大人達がしっかりと守り、育てていきましょう。